

鳴門海峡の自然を満喫する5時間コース!

＝鳴門海峡満喫旅＝



鳴門が誇る歴史・文化も体験する5時間コース!

＝歴史・文化の鳴門旅＝



がっつりドライブをしよう 5時間コース!

＝ぐるっと一周鳴門旅＝



鳴門市観光振興課

〒772-8501 徳島県鳴門市撫養町南浜字東浜170 TEL.088-684-1157 FAX.088-684-1339
E-mail: kankoshinko@city.naruto.l-tokushima.jp URL: https://naruto-tourism.jp/



令和4年9月発行



大鳴門橋遊歩道「渦の道」

大鳴門橋の橋桁内に設置された全長450メートルの遊歩道。眺望ガラス床から45メートル下の渦潮を覗けば、思わず足がすくみます。

3月～9月 9:00～18:00
10月～2月 9:00～17:00
GW・夏休み 8:00～19:00



鳴門公園



大鳴門橋 架橋記念館エディ

鳴門の渦潮と大鳴門橋をテーマにしたミュージアム。「360度4Kシアター」や「LEDデジタルアート」、「VR」など体験型の展示物が設置されています。

9:00～17:00
GW・お盆 8:00～18:00



観潮船

うずしお観潮船

●大型観潮船「わんだーなると」[写真]
揺れが少なく、2階の一等船室や展望デッキからゆったりと観潮できます。
運賃：大人／1,800円 小学生／900円（一等[2階]は追加料金）
●小型水中観潮船「アクアエディ」(予約制)
水面下1mの水中展望室から、海中のうずの様子が間近で見られます。
運賃：大人／2,400円 小学生／1,200円

年中無休



詳しくはホームページをチェックしてね♪



うずしお汽船

30分ごとに出発し、予約なしで乗船できます。車椅子による乗船も可能です。
運賃 大人／1,600円 小学生／800円

年中無休



詳しくはホームページをチェックしてね♪



絶景に深呼吸!

よもみ 四方見展望台

四方見展望台(よもみてんぼうだい)

海と山に囲まれながら絶景を巡るドライブコース「鳴門スカイライン」にある展望台です。淡路島や紀伊水道を見ることができるほか、ウチノ海に浮かぶ釣り筏や、ハート型に見えることで話題となった鏡島など、鳴門の美しい風景を楽しむことができます。



ちよつとより道

古代蓮(6月～7月)

昭和26年、千葉県検見川で発掘された弥生時代以前の蓮の実を大賀一郎氏が開花させた、世界最古の花です。鳴門市へは地域おこしボランティアの人たちによって、平成26年に植え付けられました。食用レンコンの数十倍の花が開花し、人気の観光スポットとなっています。



霊山寺



第一番札所 霊山寺(りょうぜんじ)

弘法大師が修行として行脚した道のりをたどる四国八十八ヶ所霊場巡りの出発点で、「一番さん」と親しまれています。一年中、白装束に身を包んだお遍路さんにぎわっています。

極楽寺



第二番札所 極楽寺(ごらくじ)

霊山寺から西へ約1キロ、境内には弘法大師お手植えの杉といわれる「長命杉」が天高く伸びています。本尊の木造阿彌陀如来坐像は鎌倉時代の作として国の重要文化財に指定されています。

本家 松浦酒造



伝統と歴史を楽しむ

本家松浦酒造

創業1804年(文化元年)。原材料にこだわり、丹念に作られている銘酒「鳴門鯛」の蔵元。国登録有形文化財の蔵もあり。酒類の販売のほか、酒蔵見学も行っています。



詳しくはホームページをチェックしてね♪

大谷焼の里



各窯元では、皿や湯飲み等の陶器の販売をはじめ、いろいろな陶芸体験をすることができます。詳しくはホームページをチェックしてね♪



詳しくはホームページをチェックしてね♪

鳴門海峡満喫旅

歴史・文化の鳴門旅

ぐるっと一周鳴門旅

鳴門市ドイツ館



鳴門市ドイツ館

第一次世界大戦中の1917年から1920年までの3年間、板東俘虜収容所で暮らしていたドイツ人捕虜たちと板東の人々との交流の様子を後世に伝えるドイツ館。当時の貴重な資料が数多く展示されています。

詳しくはホームページをチェックしてね♪



大麻比古神社



大麻比古神社(おおあさひこじんじや)

阿波一の宮として、県下一の社格を誇ります。木立に囲まれた社殿は荘厳な雰囲気、交通安全や厄除けを願って多くの参拝者が訪れています。

神域でリフレッシュ



ドイツ橋・めがね橋

大麻比古神社裏にある石積みの橋で、板東俘虜収容所に暮らしていたドイツ人捕虜たちが当時日本にはなかった石積みの技術を用いて造りました。

「第九」アジア初演の地

板東俘虜収容所跡地(国指定史跡)

板東俘虜収容所跡地は、現在公園として整備されています。家屋のレンガ基礎や、給水場跡が残されています。



板東俘虜収容所跡



ちよつとより道

コウノトリの巣

平成29年3月末、コウノトリの野生復帰に取り組む兵庫県豊岡市とその周辺を除いて、全国初となる野生のコウノトリのひなが誕生しました。【コウノトリ観察時の注意!】4月から6月の子育て期はコウノトリに会える可能性が高い時期ですが、親鳥が神経質になっている時期でもあります。巣周辺の観察・撮影自粛のお願い看板より先には、立ち入らないでください。首をあげてこちらを見ていたら警戒しています。近づきすぎのサインです。



▲コウノトリ 田んぼギャラリー



道の駅 第九の里



コンセプトは「体験型食のテーマパーク」。なんと金時やレンコン、鳴門鯛等の地域特産物を主に活用して「ここにしかない」オリジナル商品を多く販売しています。農産物マルシェや名産グルメ、スイーツをお楽しみいただけるショップ、お食事処を展開するほか、鳴門市を見渡せる屋上ジップラインや屋上デッキなどを整備しています。

詳しくはコチラ



物産館の建物は、第一次世界大戦時に建てられた板東俘虜収容所の兵舎(バラック)の一部を移築したもので、国登録有形文化財に指定されており、当時の雰囲気を感ずることができます。館内では、地元で採れた新鮮な農産物やお土産を販売しています。

詳しくはコチラ



きたなだ 海の駅 JF北灘さかな市



大浦漁港のすぐ隣にあり、駐車場を完備し、漁港ならではの新鮮な魚介類や干物などを販売している。敷地内にあるお食事処では、地元の海の幸を使った料理が食べられます。

詳しくはコチラ

